



**第14回 (定例) 沖縄県教育委員会**

- 1 日 時      平成19年9月19日      15時00分～15時55分
- 2 場 所      教育庁第一会議室
- 3 出席者

委員	<u>中山委員 (委員長)</u> <u>伊元委員</u> <u>玉城委員</u> <u>比嘉委員</u> <u>仲村委員 (教育長)</u>	(欠席委員)  <u>東委員</u>
----	---	--------------------------

教   育  庁	統括監等	教育指導統括監
	課長及び 班長等	総務課長 財務課長 施設課長 福利課長 県立学校教育課長 義務教育課長 保健体育課長 生涯学習振興課生涯学習推進監 文化課副参事 文化施設建設室長 全国高校総体推進課長
	職務のため 出席した者	(事務局) 総務課総務班班長 総務班主任 県立学校教育課人事管理監

- 4 傍聴した者
- 記者2人

平成19年第14回(定例会)県教育委員会会議

開 会 (15:00)

委員長	<p>それでは、只今から平成19年第14回定例県教育委員会会議を開催します。</p> <p>始めに、会期の決定を行います。本日1日を予定しておりますが、よろしいでしょうか。</p>
各委員	異議なし。
委員長	<p>この通り決定します。</p> <p>次に前回会議録の承認を行います。本日、前回会議録署名人の東委員が欠席しておりますが、会議録については事前に本人から正確に記載されていると連絡を受けております。承認してよろしいでしょうか。</p>
各委員	異議なし。
委員長	<p>承認します。</p> <p>今回会議録署名人は、玉城委員にお願いします。</p>
玉城委員	はい。
委員長	次に教育長報告をお願いします。
教育長	(教育長報告を行う)
委員長	只今の教育長の報告について、ご質疑ございますか。
玉城委員	<p>平成22年度の全国高校総体の本県開催に関連して、中学校の強化状況はどうなっているか。中学校の報告については3位までしか記入がないが、高校のようにベスト8まで記入するべきではないか。私は、球技なども案外高いレベルにあるのではないかと考えているが、優勝した野球以外の球技はどのようなレベルにあるか。</p>
保体課長	<p>今大会では、ベスト8以上の競技はございません。ただ、参考までに全国大会の予選にあたる九州大会において申しますと、ソフトボール、体操、テニス男子が優勝しております。また、2位には、バスケット女子、卓球男子が入っております。また、全国高校総体の競技ではないのですが、なぎなたでは全国選手権大会で西原東中が優勝しております。低迷気味であった種目もレベルが上がっており、九州では上位を狙う位置にきているといえます。</p>
委員長	やはり、空手が強いというのは嬉しい。沖縄のお家芸だから、空手は。やはり指導者いいのか。

教育長	そうですね。この中学生をうまく高校につないでいけると、いい結果が出ると思います。
委員長	国庫の概算要求に関して、実際に危険な建物で、危ない状況があるのか。
教育長	実際にコンクリート等が剥離しているところもあります。
施設課長	昭和56年以前の建物が危険性が高いということで、長期的に建てかえを計画しております。市町村立学校において、剥離がある学校が出ております。
教育長	改築には市町村の財政的な持ち出しもありますが、市町村には国の高率補助制度があるうちに前倒しに行ってくれとお願いをしています。市町村は財政的に厳しい状況があつて後回しにしているところが多いのですが、施設課が市町村をまわってお願いをしています。
玉城委員	高校総体に関して、特に個人種目のレベルが着実に高くなってきたなと思っている。中学、高校の指導者がいかに力を入れているかということ、実績をみて感じている。ウェトリフティング、ボクシング、なぎなたは非常に力をつけているが、これからもっと力を入れないといけない種目にはどういったものがあるか。
保体課長	高校生の強化については、体協で取り組んでいます。また、平成22年のインターハイに向けては、特に競技団体がこれまで年次計画に則り取り組んでいます。今後、全種目くまなく強化するというので、強化指定校を設けていきます。お家芸以外の競技種目についても、例えば剣道、自転車など力をつけてきております。
委員長	今回の高校総体にはヨット、ホッケー、登山が不参加になっているが、ヨットはずっと不参加なのか。
保体課長	ヨットは、年度によって参加したり、不参加になったりしています。毎年県大会も開催していますが、まだまだ初心者レベルであります。ホッケーは、海邦国体の際には強化もしましたが、その後はあまり盛んではありませんでした。しかし、ホッケー開催地の今帰仁村の教育委員会を中心に強化に取り組んでいます。登山については、以前に体育協会で登山連盟がつぶれたという経緯がありましたが、これも復活しております。
比嘉委員	学校整備に関して、数年後の子どもの増減状況を見据えた上でどのくらいの校舎が必要だということの検討は、どちら

	で行うのか。
施設課長	その検討は学校の設置者が行いますので、小中学校は市町村、高等学校は県になります。
委員長	よろしいでしょうか。続いて、議事に入ります。 議題は、議案が3件となっております。なお、議案第3号は人事案件でありますので、非公開としたいと思います、よろしいでしょうか。
各委員	異議なし。
委員長	この通り決定します。 それでは、議案第1号の説明をお願いします。
財務課長	(議案について説明)
委員長	只今の説明についてご質疑等ございませんでしょうか。 八重山商工高校の防球ネットが補償金による改修という説明があったが、記載されている4千万余の金額は、補償金が足らずに県から持ち出した金額か。
財務課長	これは、財源が特財となっておりますが、この金額は石垣市からの補償金であります。補償金をいったん県に入れて、県がみずから防球ネットの改修を行うものです。通常ですと石垣市が原状回復しますが、今回は防球ネットの高さをこれまでより高くしたいという学校の要望があったため、県自らが改修したわけです。県の持ち出しはございません。
委員長	市の補償金による工事であっても、県の補正予算の対象にもなるのか。
財務課長	はい。県の歳出になりますので県の補正予算となります。
比嘉委員	北部農林高校については、同窓会の寄附をいったん県で受け入れて、県でいくらかプラスした金額なのか。
財務課長	その通りでございます。事業費の内訳が国庫支出金2,141千円、一般財源が10,536千円ありますが、一般財源のうち一千万が寄附金となっております。また、設計費は国庫補助制度を活用しております。
委員長	他にご質疑等ございませんでしょうか。 それでは、このとおり決定してよろしいですか。
各委員	はい。

委員長	この通り決定します。 次に議案第2号について説明をお願いします。
財務課長	(議案について説明)
委員長	ご質問ございませんでしょうか。 何か所ぐらいの改正があるのか。
財務課長	改正する条例は6本ありますが、我が方の条例(沖縄県高等学校定時制課程及び通信制課程就学奨励金貸与条例)の場合は1カ所です。一番改正箇所が多いのが、沖縄県認定子ども園の認定の基準に関する条例で、4カ所になります。
委員長	他に質問はございませんか。 それでは、この通り決定してよろしいでしょうか。
各委員	異議なし。
委員長	この通り決定します。 それでは、休憩します。  (以下は非公開部分なので、省略します)